

児童発達支援または放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果(公表用)

児童発達支援センター しらゆりフレンドリークラブひがしなだ

	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫等)	保護者評価	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	定員、利用人数に対しての広さは確保している。	とても広い。 子供がのびのび活動出来て良い。	
	② 職員の配置数は適切であるか	適切に配置している。	送迎時、職員が一人の時があり心配。(放課後デイ) 少ないと感じるときがある。 職員数を把握していないが不満や不安はない。	放課後デイの送迎時について、特に配慮が必要な場合は添乗員を付けるなどしているが、安心につながるように今後、検討していく。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	バリアフリーを含め、利用者の特性に応じた設備、環境である。	事業所内は全てバリアフリーになっていて行き届いている。 駐車場の入り口が急な坂なので危険を感じる。 施設の入り口までが階段しかない。	マンションの1階という立地の都合上、施設外の設備については対応が難しいが安心していただけるように出来ることはしていくように心がけている。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	事業ごとの会議、全体の連絡会議に全職員が参加している。		意見箱を設置し、職員の声を広く集められるように努めている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	日々の連絡帳による意思疎通、定期的な要望書配布、希望に応じて面談などを実施している。	要望書による意見の組み入れや、適宜の面談があり利用者の意向は反映されやすいと感じる。	ドアアウトドアの送迎により、日ごろから顔の見える関係であるようにしている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	平成30年度内で公表できるように準備をしている。		
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価の受審はしていない。		
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	法人全体と事業所の内部研修を実施している。外部研修の受講、外部講師を招いた研修も実施している。		直接、支援する全職員が内部研修を受けることができるように研修計画を立案している。

	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫等)	保護者評価	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	療育相談による保護者ニーズの把握と確認、支援計画作成会議等により立案している。		
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	独自のアセスメント様式を作成し、利用者の状況や特性を把握している。		
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	日々のミーティングと会議により立案している。		
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	定期的な見直しをしている。		利用者、家族からの意見や要望はもちろん職員同士での意見交換で出た提案などを幅広く取り入れるようにしている。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	下校後、休業日、土日祝日に大別したうえで計画を立案し支援している。	様々な取り組みがあり子どもの成長を感じる。多様なお子さんがいるにも関わらず一人ひとりに合わせた活動になっていると感じる。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	活動を選択できるように支援している。そのうえで個別の時間と集団の時間を個々に設定している。		
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	基本は当日に振り返りと課題の整理、翌日の打ち合わせと確認を行い、当日の支援直前に再度、打ち合わせて調整をしている。		
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			情報が共有できるネットワーク環境を独自に構築している。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎日の記録は必ずその日のうちに実施し、当日に振り替えるようにしている。		
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	利用者の状況、課題に合わせた頻度でモニタリングを行い、必要に応じて計画の修正をしている。		
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	実施している。		活動には社会資源を多く用いている。	

	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫等)	保護者評価	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	担当職員もしくは児童発達支援管理責任者が出席している。		
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	実施している。		
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在、医療ケアが必要な子どもの受け入れ実績はない。		
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	保護者を通じて利用全の情報を共有している。必要に応じて連絡を取り合うようにしている。		
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	情報提供の要望があれば、保護者に確認のうえで実施している。		事業所の持つサービスとして成人の通所事業もあるため、移行についてのノウハウは多く持っている。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	連絡会等により連携を図っている。		連絡会のみ、なので主体的に発信出来ないか検討している。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	ない。	そのような機会は少ないように感じる。 特に交流を必要と感じない。	
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	参加していない。		参加に向けて計画している。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳を主な手段として様子の共有をしている。他に送迎時に口頭でやり取りをして共有をしている。	連絡帳で共有できている。 子どもの詳細を教えてもらえるので助かっている。 モニター参観などができると嬉しい。	
㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	療育相談の時以外にも家庭で出来る配慮や支援などを適宜、伝えている。	勉強会等がある。 相談会があるが頻度を増やすか、一人当たりの時間を増やして欲しい。		

	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫等)	保護者評価	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に実施している。 運営規定の内容を契約書に含んでいる。		
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	毎日、確認して何かあれば支援している。併せて相談後のアフターフォローをしている。	細かく相談にのってもらっている。	日々、迅速な対応を心がけており実践している。
	③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	毎月、保護者の集まりを実施していたが現状は出来ていない為、再開に向けて計画中。	座談会を再開して欲しい。	毎月の頻度が困難であるので年に4回、など検討している。 単一サービスでないでの交流ではなく幅広い年代の利用者家族の交流を意識している。
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情受付の体制は周知しているがばらつきがある。 苦情等があれば迅速かつ適切に対応している。	何かあればすぐに対応してもらっているので感謝している。 連絡の遅れなど改善していただいた。	危機管理委員会を施設内に設置し、苦情や事故、ヒヤリハットの頻度や種類、傾向を分析して再発防止に活かしている。
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月、お便りを発行していたが現状は発行できていない為、再開に向けて計画中。	毎月のお便りを楽しみにしている。 連絡事項や行事などはもう少し早めに伝えて欲しい。	以前は児童発達支援に限定してお便りを発行していたが今後はセンターとしての取り組みが分かるように考案中。
	③⑮ 個人情報に十分注意しているか	個人情報の取り扱いを規定して遵守している。		日々、注意喚起するとともに業務書類の複写やメモは必ず破棄している。
	③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	特性に合わせた支援、配慮をしている。		
	③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	行事に招くことはしていないが成人利用者の作業所としてのレストランがあり地域住民に幅広く利用してもらっている。		

	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫等)	保護者評価	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルは整備されており職員には周知している。保護者に対しては出来ていない。	以前は殆ど対策をしていないように思うが最近では改善されていると思う。 将来的にマニュアルなどは欲しい。	玄関で閲覧できるように整備する等、段階的に周知をしていく予定。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	避難訓練を毎月実施している。		
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	内部での虐待防止研修と外部研修の受講をしている。		事例検討を頻繁に行い、支援の検証をしている。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束はしていない。 利用者から要望があれば、身体拘束以外の方法を提案している。		困難事例であっても拘束等の方法以外で支援できるように個々の職員のスキル向上に努めている。 併せて、チームによる支援をすることにより負担が個人に集中しないようにしている。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	書面もしくは口頭によるアレルギーの有無の確認をしている。		業務日誌にアレルギー等の特記事項を記入して確認する欄を設けており有効活用している。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	危機管理委員会を設置し、委員を中心にヒヤリハットや事故の分析をして情報を共有している。		危機管理委員会を施設内に設置し、苦情や事故、ヒヤリハットの頻度や種類、傾向を分析して再発防止に活かしている。